

学校関係者評価報告書（令和4年度）

学校法人 明日香学園 明日香国際ブライダル&ホテル観光専門学校は令和4年度の自己評価を実施し、規定に基づき学校関係者評価委員会を実施した。

- ・評価実施日：令和4年12月8日（木）
- ・学校関係者評価委員：関係企業委員2名、卒業生1名（計3名）
- ① ブライダル会社経営者
- ② ホテルマネージャー
- ③ ブライダル会社従業員

※評価基準 4，適切に対応 3，ほぼ適切 2，やや不適切 1，不適切

（1）教育方針

評価概要	評点	自己評価
① 教育理念・方針・目標がしっかりと定められているか	4	昨年度の反省をもとに、教育目標をさらに詳しく記載した。今後は、方針をよりよく理解するために、目標達成のための具体案を出していくなど工夫を施したい。
② 教職員・学生に周知されているか	3	教職員へは教務会議にて、学生へはオリエンの際に周知し、朝礼で唱和も行っている。留学生の各母国語へ翻訳する案があがっており検討中である。
③ 輩出すべき人材像に沿っているか	3	基本的には沿っているが、一部沿っていない者もいる。人物像については、教務会議等であがった意見を検討していく必要がある。

【課題】

- ・教育方針が未だ漠然としている部分があるため、変更の必要性や具体案を再度検討し、就職へと学生を導いていけるよう明確な目標をしっかりと伝えていく。

【改善案】

- ・年2回の教務会議だけでは不十分なため、教務会議の他に話し合う機会を増やすことや、周知の時期やスパン、方法や議題について再検討する。
- ・最終目標に向けて、身近な例を出したりプロセスごとに目標をあげる。

【特記事項】

- ・昨年度の意見をもとに、更に詳しい教育目標に変え、学生が理解し目標とできるもの、先生方も学生への指導がしやすいように目標を明確にしたつもりであったが、不十分な点を再検討し教職員全体への周知を徹底していく必要がある。

「学校評価委員会評価及びコメント」

◆ブライダル会社経営者

①4 ②3 ③4

・着物について。ブライダルコーディネーターであればドレスに関わるものが多いが、半分は和装もあるので、その返はどういうふうに学んでくると気になる。美容学校ではその辺に少し触れてきて、入社してから着付けの検定というか免許を取っている。美容学校は美容だけなので、しっかりとした着付けは習っていないためうちです。衣装合わせをするときにはブライダルの方でも必要になる。そのための技能検定はあるのかないのか、見たことないと思った。普通の大学や短大から来る方に比べて、ブライダル専門学校出身の方はドレスを丁寧に扱うといった心が育っていきるのが大きいと思う。こうやって資料をみたところ 3 級は一番初めの級ではあるが、ちゃんと学んできたという印にはなる。色彩検定は、その先で最終的に色彩の勉強をした人が学んでいくようだ。これも 3 級の初級をとっているようだが、採用の際にこの辺は見ている。

◆ブライダル会社従業員

①3 ②3 ③4

- ・特になし

◆ホテルマネージャー

①4 ②3 ③4

・私自身わからない資格もある。レストランサービスやマナープロトコールは、自分でも一回受けたことがあるからなんとなくわかる。これに関しては勉強することが大事だと思うので、取っておいて必要だと思う。あとは自社において推奨する資格があればということだが、正直なところこちらに挙げられている以上に関しては、そこまで必要ない。留学生については最近「N2 以上」とう条件で募集を出しているが。

最後に、自社にはお茶室があり、最近お茶に触れる機会があった。ここ 3 年程学ばせてもらっているが、それがとても良い勉強や体験になった。和食のレストランもあるので、和食や和の文化に触れることも大切。日本人でもあまりそういった機会がないので、自社の研修でも取り入れようかと思っている。サービスに生かせると思う。

国際学生が多くいるので、英訳、各国の母国語に翻訳してしっかり伝わるようにするのもいいのではないかな。

(2) 学校運営

評価概要	評点	評価
① 学校として進むべき方向、ビジョンは策定されているか	3	教育目標は改善し以前より明確になったが、人間性の部分において育てたい学生像がまだ定められていない。また、教職員それぞれの考えや指導に委ねられている印象もあり、認識に多少のバラつきがある。
② 学校全体で共通の意思決定を共有することで、運営を実践しているか	3	週次ミーティングを設けることで以前より相談、共有、意思決定がしやすくなった。まだ情報共有の面で、常勤、非常勤を含め全体として行き届いていない部分が残る。
③ 適切な改善は行われているか	3	話し合いの場が増え、改善できている部分はある。改善にまで至らないものもまだ残っており、全体での振り返りの場が少なく、個人で取り組んでいるようなものもある。

【課題】

- ・「学校全体としてのビジョン」という意識が薄く、それぞれ個人や担当者間のみで進めている部分があり、まだ全体として報告・連絡・相談の体制に改善の余地がある。

【改善案】

- ・週次ミーティングのやり方の見直し、目的意識を確認し、報告・連絡・相談を徹底する。
- ・非常勤講師を含めた会議では、学校の方針をより明確に示すと同時に、非常勤講師からの助言や困り等も聞く場も作る。

【特記事項】

- ・長期的な目標をもう少し明確にすべき。人間性の向上として、更に具体的な目標が望まれる。

「学校評価委員評価及びコメント」

◆ブライダル会社経営者

① 3 ② 3 ③ 3

・うちにはスタッフが食事をできる場所がある。接客業なので全員一斉にご飯を食べられないがコミュニケーションの場にもなっていた。今はコロナ禍で食事は黙食となりその場所でお話しながら食事ができないし、なかなかコミュニケーションをとりにくいと思っている。夜に飲み会をしている人は何人かいると思うが。

目標達成のためには、月初に1回、従業員50名全員が自分の昨月の反省と今月の目標を1人2分程で発表する場がある。非常に新人さんでもきちんと話をしてくれるので、そこで皆の思いが聞ける。

トレーニングに関しては、研修室が社内であり、研修室で勉強したり、コーディネーター3名がそれぞれに技術を知り合ったり、そういうような共有はしている。以前はマナー講習等を受けていたが、今はなかなかコロナ禍等でできていない。

◆ブライダル会社従業員

① 3 ② 4 ③ 3

・育てたい学生像に添えるかはわかりませんが、ブライダル・ホテル業界は第一印象が大切になる仕事ですので、より現場に馴染める人材を作るために通年、制服の着用（夏服を作るかフォーマルな服装規定を定める）など、留学生にも制服の着用を義務付け、少し厳しく身だしなみの意識から定着させるのはいかがでしょうか。

◆ホテルマネージャー

① 3 ② 3 ③ 3

・3か月に1度、所属長とスタッフの個人面談をし、当初の目標に対して進捗はどうか確認している。目標は結構たてるが、どうやってその人を評価するかに焦点をあてて、上司がどうやって評価するのかポイントを決めておかないと、目標をたててもどこに向かえばよいのか見失う。まだ自分が5年目なので分からない部分もあるが、時間をとって面談をやるようにしている。あとはやはりコミュニケーションが大事。話さないといけないところもあるので、そこが課題。その他に、社長や副社長を交え、従業員のコミュニケーションとして誕生日に誕生日会をしている。それとは別になるが、トップの言葉というのはすごく違う。正社員140人全員に対して話できない部分もあるが、ポイントポイントでそういう場を設けたいと思っている。

(3) 教育活移動

評価概要	評点	評価
① 教育課程を編成する体制は、整えられているか	3	教務会議やカリキュラム編成委員会を開催し、現場で活躍する方からの意見や教職員の意見を取り入れている。学校側から一方的に指針を出すだけでなく、非常勤講師を含め教職員の意見や自主性も受け入れる姿勢で体制を整えるよう意識している。
② 時勢に沿ったカリキュラムの改変は行われているか	3	教務会議、カリキュラム編成委員会、学校評価委員会、インターンシップ等を通して、時勢に沿ったカリキュラムや学生に必要な内容になるよう都度検討し、改変を行っている。そのためにも現場の方と関わる機会や意見交換の場をさらに増やしていきたい。
③ 授業評価を適切に行っているか	3	学生に授業評価アンケートをとり、その結果を各講師へ渡している。今後は過去のデータとの比較や、評価を受けて改善すべき点等を相談し共有する機会を設け、授業改善へ役立てたい。

【課題】

・個人に委ねられている教科や講師の専門外の科目に関して、担当講師によるバラつきが懸念されるため、指針を明確に示すとともに、必要に応じて情報共有、相談する体制を整える。

【改善案】

・授業評価アンケート内容については、変更や追加部分が必要であれば変えていく。評価を次へ活かし授業の質を向上させるよう、非常勤講師も含め結果を共有、相談する機会を設ける。

「学校評価委員評価及びコメント」

◆ブライダル会社経営者

① 4 ② 4 ③ 4

・仕事も同じで、仕事の面白さとか、わからないまま辞める人もいる。本当に関係ないかもしれないけれど、学校の方からも、まずは「石の上にも三年」というその辺の指導をお願いしたい。そうしていたら、続けることで「ここがその仕事の面白いところだ」と掘んでいったら良くなると思う。

◆ブライダル会社従業員

① 4 ② 4 ③ 4

・特になし

◆ホテルマネージャー

① 3 ② 4 ③ 4

・授業評価アンケートの質問である「授業は楽しいですか」という項目自体、無くすか変えた方が良いのではないか。教育目標にも「楽しい学校生活」というものも別にないので。逆に「つらいですか」というのも変だが、「厳しいですか」などの尋ね方にした方が受け止めやすいかも。

ちなみに自分は短大で保育の勉強をしたが、当時は何も考えず学校生活を送っており、後になってもう少しやればよかったと。秋好(星)先生もおっしゃっていたが、一人一人が何を目標にしているか、何に興味があるかを掘り下げられたら学生に合った「楽しさ」が見つかるかと思う。会社も同じ。今の現状と何をしたいのかを聞いて、それから学びへ繋げようとしている。いろいろと網羅していないとできないことだと思うので、それを学校でできるのはすごいと思う。参考にして会社に持って帰りたいと思った。

(4) 学習成果

評価概要	評点	評価
①資格取得の目標は定められているか	3	目標はかなり具体的に設定されているが、資格取得への意欲が低い発言や達成できていない様子も見られるため、目標達成に向けての指導の在り方を今後も検討していく。
②就職率は向上しているか	3	日本人に関しては向上しただけでなく、別の業種への就職ではなくブライダル・ホテル業界への就職率も昨年度に比べ上がっている。留学生に関しては求人案内や就職活動がこれから本格的になるため、今後に期待している。
③卒業生の離職率に関し、卒業生並びに就職先との連絡を密に取っているか	3	以前に比べ、卒業生が訪問してくる機会が増えた。企業訪問の際などに卒業生の様子を訊いているが、もっと連絡を密にしていける必要がある。卒業生とも今後はコミュニケーションをとる機会を増やしていく。

【課題】

- ・検定試験の合格率をあげる。
- ・日本語能力との兼ね合いを考えながら、留学生が語学以外の資格取得を目指すことができないか検討する。
- ・卒業生の状況把握を企業訪問や同窓会などの機会に行う。
- ・この数年間でキャリア担当が次々変わったこともあり、企業との繋がりが消えないように、就職先やインターン受け入れ先にも今後連絡をより密にする。

【改善案】

- ・取得や合格を目指すべき資格、検定やその受験級の見直し。
- ・日本人の就活の様子を留学生が知ることで、取り掛かりのタイミングや方法を学び、就職活動への意欲を高める。

【特記事項】

- ・離職率の調査を行うべき。企業との連携ももう少し図るべき。訪問に行けない企業には電話対応する。卒業後も企業や卒業生と連絡をとり、離職した場合はどういう理由で辞めたのかを訊く。また、離職しないようなアドバイスもあたえる。

《学校評価委員評価及びコメント》

◆ブライダル会社経営者

① 3 ② 3 ③ 3

・留学生に関しては、外国人の方やハーフやクォーターの学生もいたが、うちは職種が多様なので外国人に絶対に触れないということはないので、その人次第で能力がすごくある方も色々いらっしゃって良いと思う。

◆ブライダル会社従業員

① 3 ② 4 ③ 3

・ブライダルコーディネートや色彩検定の他に、実務的な検定取得を斡旋するのはいかがでしょうか。実際、美容科を卒業した同期(賀部由希子さん)は美容師免許を取得しているため、ドレスコーディネーターでありながらヘアメイクも施せるので、トータルコーディネートが行える点が彼女の強味にもなっています。

メイク、着付けなど、授業だけでなく「手につくもの」の検定を入れても良いのではないのでしょうか？事務的な面で言えば Excel や Word など、業務で活用して慣れていくよりも資格を取得して業務へ臨める方が、現場からは即戦力になりますし、当人の自信にも繋がると思います。

◆ホテルマネージャー

① 4 ② 4 ③ 3

・一般的なことであれば、企業や業界を知っているどうか。私達のことを知っているか。ホームページに出ている情報だけでなく、ちゃんと調べているのか、意欲があるかをみる。あとは業

界的な知識があると魅力的だと思う。本当にホテル業界を志望していることがわかるので。留学生に関しては、日本語能力と、英語も TOEIC の獲得点数を書いていたりと、資格もあるといいのかなと。主に求めるのは、業界の知識と企業研究。

(5) 学生支援

評価概要	評点	評価
①学生に対する経済的な支援体制は確立されているか	4	奨学金、学費免除、保護者支援、早期割、研修費負担等、支援体制を多様にとっており、比較的充実したサポートを確立している。
②学生対応に係る人員配置は行われているか	2	事務職に関しては職員が増え、データ管理等を以前より手厚く行えるようになった。少人数ではあるが、常勤、非常勤を含め親身に対応するよう心掛けている。
③就職に対する支援体制は整えられているか	3	キャリア担当を設け、企業とのパイプ役として支援する体制を確立しつつある。授業や個別対応の中で、教職員がそれぞれに動くのではなく、情報交換や共有、相談を行い教職員全体で連携してよりよい支援を行ってけるよう努めていく必要がある。

【課題】

- ・常勤講師、担任の不足。

【改善案】

- ・就職に関して、日本人留学生問わず、情報収集に努めるとともに情報共有の仕方や協力体制を見直し、改善する。

【特記事項】

- ・経済的支援は、比較的充実している。

《学校評価委員コメント》

◆ブライダル会社従業員

① 4 ② 4 ③ 3

・例えば、福岡や色々なところから就職の話をいただく中で、「ホテルブライダル～」などと、なかなか私にとっては全部同じような名前に聞こえる。直接学生と会うと素晴らしい学生だなとなるが。特に県外の場合を含め、どちらの学校さんとも先生との接点がなかなかとりにくい。今はこちらのキャリア担当の先生が代わられて、校長先生も代わられてというところで、学校との連携というのがちょっとどなたと話したらいいのかなという感じになっている。こちらの学生さんとはうまくやっていると聞いてはいるけど、他の学校であれば「学校の先生と直接お話できたらスムーズに行くのにな」ということや、「こういう学生の性格だったら、こちらからこうアプローチしたらうまくいくのではかな」など考えることがあるので、今少しその返が不安。

◆ホテルマネージャー

① 3 ② 4 ③ 4

・まずは企業を知ってもらう時間をとっていただけるのであれば、授業の都合がつくのならば、企業説明などいつでもできる準備はあるので、させてもらいたいと思っている。担当者間で座談会のようなものもしたい。自分の中で今しないといけないことが多く、お願いするということはまだ見えてないが、また何かあればお願いさせていただく。

(6) 教育環境

評価概要	評点	評価
①インターンシップ及び校外（学外）授業について、各業界との協力体制が整っているか	4	校外授業は企業と連絡、連携をとり、積極的に増やした。インターンシップに関しては、企業との事前・事後の連絡もより密に行い、お互いに協力する体制をさらに整える必要がある。
②防災に関して、定期的に避難訓練を実施し、安全体制が確立されているか	3	防災担当者を新たに設け、避難訓練や防災マニュアルの用意など安全体制の確立に努めている。資料配布や掲示など、意識を高めるよう日頃からさらに呼びかけていく必要がある。
③施設整備は教育上の必要性に対し、十分に整備されているか	3	古い備品の更新といった課題も残るが、備品購入や、設備に関しては実際の現場を見学や使用することで徐々に補っている。設備点検や修善に関しては日頃から定期的に行っている。

【課題】

- ・引き続き、インターンシップの開拓、方法や期間の検討は必要。理想と現実のギャップを少しでも埋め、現場を経験することで即戦力になれるよう、インターンシップの充実を図る。
- ・古い備品の更新（特に着付け室の衣装やアクセサリー）
- ・留学生の就職への取り組みが遅いため意識づけや、旅館やホテルへの理解を深めるために留学生のインターンシップがもっと充実できればよいと思う。

【改善案】

- ・企業とさらなる協力体制を築く。学生には可能な限りアルバイト先にブライダル・ホテル業界を薦める。

【特記事項】

- ・インターンシップを長期で引き受けてくださる企業様が増えて、大変助かっている。長期のインターンに適應できる学生を育成していく必要がある。

《学校評価委員コメント》

◆ブライダル会社従業員

① 3 ② 4 ③ 3

・インターンシップを1週間～の短期ではなく、半年～1年もしくは2年、式場やホテルで行う制度はいかがでしょうか？

現場に出た時の理想と現実のギャップが離職率に繋がっているように感じます。

上記のインターン制度は弊社の福岡の式場「RITZ5」で実際に導入されており、福岡のブライダルの専門学校に通っていた同期にも、インターン制度でRITZ5で2年勤務した社員がいました。

入社して新たなことを覚えるにしてもインターンを経験していると、本人の余裕もあることと、現場を知っているので何よりも即戦力になります。

インターン制度が難しければ、アルバイト先としてホテル・式場へ協力体制をつくることなど、とにかく長期的に現場を体感させることが必要だと思います。

◆ホテルマネージャー

① 3 ② 3 ③ 4

・県内企業でのインターンも積極的に斡旋するのもいいのでは？

(7) 学生募集

評価概要	評点	評価
①学生募集に対し、広報活動・ガイダンス参加・SNS発信・オープンキャンパス等、適切な活動が行われているか	3	一通りの広報活動を行っており、充実した発信内容を目指している。一方、現状維持のみでなくさらに発信していくことを目指すことや、留学生の学生募集に関してはさらなる策を講じる必要がある。
②在校生、卒業生から後輩への呼びかけを促進しているか	3	在校生から後輩への呼び掛けや、卒業生の紹介で入学した学生もいる。コロナ前のように今後は広報活動に在校生も交えて学校の魅力を発信していきたい。
③学費は適正か	4	適正。減免や支援制度を加味すれば比較的安い。

【課題】

・学生募集について、広報担当が主となって情報共有を行い、職員、在校生、卒業生とどのように進めていくのか話し合う。学校全体として取り組めるよう、協力体制を整える。

【改善案】

・SNSの活用（TikTokなど高校生に流行のコンテンツと取り入れる）
・留学生に対して、学生募集の策を考える場を設ける。

《学校評価委員コメント》

◆ブライダル会社従業員

① 4 ② 4 ③ 4

・他の先生方から、学生さんで生活が厳しく大変だという話を聞くが、とても学費など支援し

てくださっているようなので、うちに高校生のインターンシップの人などがきたら、明日香国際を勧めたいと思う。

・今の主流 SNS といえばインスタグラムだと思いますが、写真のみのサムネイルよりも文章がサムネイルの POST の方がもっと多くの学生に興味を持って見てもらえると思います。

◆ホテルマネージャー

① 4 ② 4 ③ 4

・しっかりと会議をされているのがみえて、弊社もしっかり改善するところはして、受け入れ態勢やマッチングが深まればいいと思う。引き続きよろしくお願い致します。

(8) 財務

評価概要	評点	評価
①健全な学校運営を行うための適正な予算管理と、適正な予算執行を行い、検証しているか	3	消耗品や必要備品はコストパフォーマンスを意識して選び、昨年度の予算を確認しながら適正に執行するように心がけている。年間の予算を事前に把握し、現場実習等に充てる予算を検討する場をさらに設けたい。
②経費の無駄を省くための指針は定められているか	2	教職員一人一人が無駄のないように日頃から意識している。さらに無駄を省けるものがないか常に検証していく。
③会計監査は適切に行われているか	4	税理士と経理担当で会計監査を行っている。監査報告書もホームページに掲載している。

【課題】

- ・教職員全員が予算に対して関わり、検証する場を設ける。指針については明確に記載する。
- ・空調設備の使用ルール等に関しては、教職員や学生で定期的にルールを再確認する。

【特記事項】

- ・引き続き、無駄な経費を省くために、節電など、身近にできることをしっかり行う。

《学校評価委員コメント》

◆ホテルマネージャー

① 3 ② 3 ③ 3

・学生さんの入学目標（定員）、特に日本人を獲得していくことも大事なのでは。経費削減ももちろん大事でしょうが限界があると思います。

あとは留学生も特定技能の取得をすることに、どれだけ企業のニーズがあるかをわかってもらうのもいいのでは？就職先企業と学生の理解を得られれば決してビザの上下などの誤解も解け、学生の就職率も上がると思います。

(9) 法令等の遵守

評価概要	評点	評価
------	----	----

①交通事故、犯罪及び犯罪巻き込まれ、その他近隣の住民に対して、迷惑をかけないなどの周知は定期的に行われているか	3	定期的に警察から訓示を行ってもらおう等、警察との連携をとっている。終業式等においても、学生へ都度呼び掛けを行っている。
②個人情報の保護が適正に行われているか	3	これまでに特に問題は起きていないが、SNS等の使用も多いため、個人情報の取り扱いには今後も注意していく。
③就業規則は、全教職員に周知徹底されているか	3	周知徹底には改善の余地がある。徹底を目指し、再確認も含めて見直す必要がある。

【課題】

- ・法令について考える機会の見直し。意識づけ。
- ・学生が交通事故等に遭った場合の対応方法をマニュアル化し、夜中や休日に事故に遭った場合にある程度は自力で対応できるような体制を整える。教職員の手続き方法についてもスムーズに迅速に行えるようマニュアル化を考える。

【改善案】

- ・時間外労働を減らすよう、さらなる効率化を図る。

【特記事項】

- ・個人情報の管理を、更に徹底。USBの持ち出し禁止。誰でも、個人情報を見ることができないようなシステムを設置している。

《学校評価委員コメント》

◆ホテルマネージャー

① 3 ② 4 ③ 3

- ・SNSの発信はどうにもならないと思います。ただ、良かれ悪しかれどんな発信をされてもいいような体制を作っていくことが大事だと思います。

就業規則に関しては企業も同じで周知は課題ですが、最近は対策として勤務時間・福利厚生など抜粋してわかりやすいハンドブックの作成に着手しております。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価概要	評点	評価
④ ボランティア活動、大分駅南口周辺の清掃活動は定期的に行われているか	3	定期的に清掃活動を学生と教職員で行っている。一方、学生や教職員がプライベート等で自発的にも活動しているかどうかまでは把握できていない。
⑤ 地域の方との交流は行われているか	3	コロナ禍により本来よりも交流の場が減った。今後は地域の方や外部からのお客様をお呼びして、学校イベント等を行っていきたい。留学生と日本人との交流の場も作りたい。

⑥ ハローワーク等と連携して、職業訓練などのキャリア教育を積極的に実施しているか	2	依頼があった場合には積極的に実施している。市の国際キャリア対策等とももっと連携をとり、キャリア教育などにも役立てたい。
--	---	---

【課題】

- ・地域の方との交流の機会について、計画をたてる場を作るべき。
- ・他機関とのつながりを増やす。

【改善案】

- ・コロナ収束後は、国際祭りなどに、地域の方を招いて、国際の存在を更にアピールしたい。また、ボランティア活動として、地域の清掃活動の機会を増やしていきたい。

《学校評価委員コメント》

◆ホテルマネージャー

① 4 ② 4 ③ 4

- ・様々な活動を通して、大分県内随一のブライダル・ホテル観光専門学校として地域密着は目指してほしい。